

自己点検・自己評価報告書

埼玉ブリエ日本語学校

(令和二年4月1日制定)

自己点検・自己評価項目

3：よくできている、 2：概ねできている、 1：改善が必要

1. 教育理念・目標

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|----------------------|----|
| 1-1 | 理念・目的・育成人材像は定められているか | 2 |
| 1-3 | 学校の特色として挙げられるものがあるか | 3 |
| 1-4 | 学校の将来構想があるか | 2 |
| 1-5 | 理念に基づく教育が行われているか | 2 |

現状・課題

理念・目的などは、3か月に1度の教員会議、また学制募集時や新入生のオリエンテーション時に伝え、全体に周知を図っている。教員は着任前に有償の研修を行っている。

学校の特色は、現在様々なことに取り組み、いくつもの特色となる部分があるが、同時に特色を持続させる教職員の育成も常に必要だと考える。

2. 学校運営

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|---|----|
| 2-1 | 運営方針は定められているか | 2 |
| 2-2 | 事業計画は定められているか | 2 |
| 2-3 | 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか | 2 |
| 2-4 | 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 2 |
| 2-5 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 2 |
| 2-6 | 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 1 |
| 2-7 | 危機管理体制は整備されているか | 1 |
| 2-8 | 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか | 1 |

現状・課題

決算ごとに方針や計画は定めてはいるものの、幹部のみへの周知で、教職員への周知には課題が残る。学校管理システムの導入により、学生管理、ビザ申請、出席率管理などはすべて電子化され、非常に効率的に行われている。

人事や賃金で処遇については、非常勤講師については概ねできているが、専任講師・事務職員については現在構想・改善中である。

危機管理体制として、防災の授業を毎年行っている。防災備品や防災訓練を強化していく。

3. 教職員

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|----------------------------|----|
| 3-1 | 教育理念と目標が教職員、学生に周知されているか | 1 |
| 3-2 | 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 2 |
| 3-3 | 教育評価を行っているか | 1 |

現状・課題

教育理念や目標について、現場レベルでの理念・目標は周知・達成されつつある。今後も教員会議や時期を見て周知を徹底させたい。

教育の質を向上させるため、到達度を図るテスト、また必要な教材教具などを準備し、授業に用いている等、教育の機会・質に大きな差が出ないように配慮している。さらに年に2回教員の勉強会を実施して、教員の質の担保を行っている。また教員のため参照できる資料・書籍はできる限り購入し、閲覧可能な環境を整備している。

4. 教育活動・学修成果・教育環境

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|-------------------------------------|----|
| 4-1 | 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか | 2 |
| 4-2 | カリキュラムは体系的に編成されているか | 3 |
| 4-3 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 3 |
| 4-4 | 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか | 2 |
| 4-5 | 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか | 3 |
| 4-6 | 進級、修了、卒業の判断基準が明確であるか。 | 2 |
| 4-7 | 成績評価は適切に行われているか | 2 |
| 4-8 | 成績や進級の条件等を学生に周知できているか。 | 2 |

| | | |
|------|------------------------------|---|
| 4-9 | 授業に必要な機材など十分に揃っているか | 2 |
| 4-10 | 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか | 2 |

現状・課題

進学コースとして開設し、目標も設定している。今後はニーズに特化したコースの開設を準備している。

カリキュラムは入学時期、また進学希望先に合わせて組んでいる。また熱意のある学生のため随時ステップアップができるよう作成した。

成績・評価は定期的に行っており、事前に学制にも周知している。

5. 学生支援と生活指導

| | 評価項目 | 評価 |
|------|---|----|
| 5-1 | 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 3 |
| 5-2 | 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 3 |
| 5-3 | 学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 2 |
| 5-4 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 2 |
| 5-5 | 保護者と適切に連携しているか | 1 |
| 5-6 | 休日及び長期休暇の学生対応はできているか。 | 3 |
| 5-7 | 入学直後のオリエンテーションを実施しているか | 2 |
| 5-8 | 生活に関するオリエンテーションを実施しているか | 2 |
| 5-9 | 常に最新の学生情報を把握しているか | 2 |
| 5-10 | 卒業生への支援体制はあるか | 2 |
| 5-11 | 入国・在留関係の管理・指導を定期的に行っているか | 2 |

現状・課題

進学指導に関しては手厚くサポートしている。学生一人一人に時間を割き、志望理由書の作成、面接練習等丁寧に行っており、当校の特色の一つとして挙げられる。

今後は、直接保護者とも相談できるような信頼関係を構築していく。

入国時のオリエンテーションでは母語訳の案内の冊子、また母語訳をつけて実施している。

卒業後のビザ変更等、学校として対応できることはできる限りサポートをしている。

入管や外部勉強会に参加し、情報収集をするとともに他校とも交流を図っている。

出席率・成績不良の学生に関しては、早い段階で個別面談、段階を追った警告を行い、未然に防いでいる。

6. 学生の募集と受け入れ

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|-----------------------------|----|
| 6-1 | 学生の受入方針は定められているか | 2 |
| 6-2 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 2 |
| 6-3 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 2 |
| 6-4 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 2 |
| 6-5 | 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 2 |

現状・課題

募集担当者は受け入れ方針を持って適正に学生募集に当たっている。

学制や学制の親に対して正確な情報を提供するようにしている。

また現地に提携校を持ち、現地からの情報も積極的に取り入れ、対応を行っている。

7. 財務

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|--------------------------|----|
| 7-1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 2 |
| 7-2 | 予算・収支計画の有効性及び妥当性は保たれているか | 2 |
| 7-3 | 財務について適正な会計監査が実施されているか | 2 |
| 7-4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 2 |

現状・課題

学習環境を整えるための財務管理・予算確保は安定して確保されている。

8. 法令の遵守

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|--------------------------------|----|
| 8-1 | 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 2 |
| 8-2 | 教職員の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 2 |
| 8-3 | 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 2 |
| 8-4 | 自己点検・自己評価結果を公開しているか | 2 |
| 8-5 | 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 2 |

現状・課題

法令を遵守し、定期報告や自己点検も行っている。

教職員の個人情報の保護に力を入れている。

9. 社会貢献

| | 評価項目 | 評価 |
|-----|----------------------------|----|
| 9-1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 2 |
| 9-2 | 学生のボランティア活動を支援しているか | 2 |

現状・具課題

日本語教師養成課程に在籍している方にも教育現場の情報を提供している。

今後はさらに地域とのかかわりを持って活動を行っていきたい。

学生向けのボランティア活動の募集や案内等掲示をしている。